

創造。価値。持続可能。

## 【江津本町ふらり×いわみん】高校生プロジェクト

「アオハル52」は鳥根県江津市にある県立学校3校と一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。昨年度から江津高校、江津工業高校、江津清和養護学校の3校で“まちで学ぶ”を考えるチーム、“GO▶GOTSUコンソーシアム”が

立ち上がり、それぞれの特徴を活かしたプロジェクトを行っています。

学校同士はもちろん、地域、企業と一緒にさまざまな「学び」「楽しみ」を作っていきたいと思っています。この情報誌では、そういった連携の様子をお届けしていきます。

GO▶GOTSUコンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、お互いがいろんな自分に出会うことができる協働の種を探しています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。

**GO▶GOTSU!**  
コンソーシアム

NPO 法人でござんと石見

担当：藤田 / 竹内 / 齋ヶ原

tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net

## 持続可能な取り組み

### 無理のない取り組みから発展させる

お互いの「関わりしろ」を探す。「関わりしろ」というのは、そこに自分に関わる余白があるかどうか？未完成だからこそ共に創り出すことができる。



### お互いの専門分野を生かして、お互いの「やりたい!」や「課題解決」を実現

違いがある3校だからこそできる、多様性を尊重した連携。各校の魅力化担当がビジョンと情報共有することで生まれる化学変化。

### 現行の取り組みでのコラボレーション

「コラボレーション」とは、異なる立場の人による協働作業。組み合わせの意外性や、付加価値の創造といったニュアンスが込められる。各校での取り組みが、コラボすることで新たな価値の創造につながる。





### わくわくプロジェクト学習成果発表

江津高校2年生の総合的な探究の時間で取り組んだわくわくプロジェクトの生徒が3月27・28日に開催された全国の発表会にオンラインで参加しました。地域の小学生や社会人との交流で得られた気づきや自分自身の変化を発表しました。とてもいきいきとした表情で江津高校の良さもアピールすることができました。



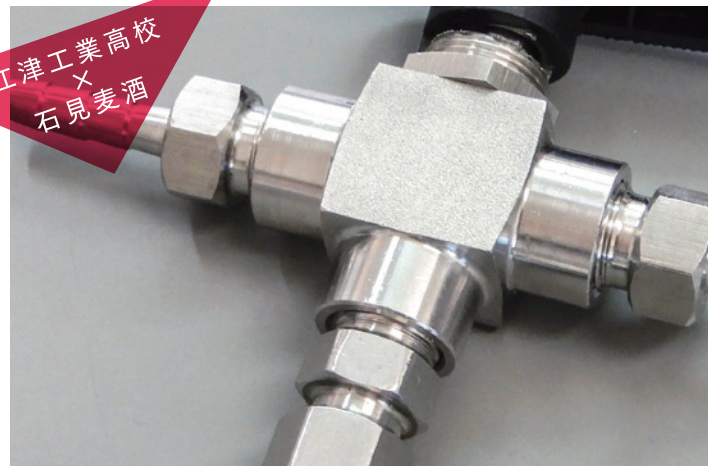
### 江津高校 × 江津工業高校の生活科学部で ごうつ本町ふらりイベントに出店

両校の生活科学部がオンライン会議をしながら企画を進めています。桑抹茶・山芋など江津の特産品を生かした商品を作るため、どうしたらより素材が生きるのか、調理の手間や自分たちの技術、季節感についても考え、レシピの開発をしています。価格やラッピング、どのくらい作るかなどまだまだ考えることがたくさんありますが、無事おいしいものができるのか、ご期待ください。



### 江津高校 × 江津工業 「風の国」で植樹

5月23日(日)、全国植樹祭の一環として「風の国」でクヌギの苗を植樹しました。自らの手で植樹活動を行い、健全な森をつくることで、森林がもつ生態系や涵養機能などの役割を再認識することもできました。また、最後には江津工業高校の写真部の生徒が記録写真を担当し、記念写真を撮影しました。



### 江津工業高校 × 石見麦酒との連携

機械・ロボット科3年生の課題研究でひとつの班が地域産業と関わるテーマとして、株式会社石見麦酒で使用されている地ビールを瓶詰めする機械の部品を一部改良・交換することで、コスト削減や作業性の向上に取り組んでいます。扱ったことのない機械部品の機能を調べ、現状と同等以上のものを探す作業に苦戦しています。今後は、実際に瓶詰め器に組み付けて機能の確認や改善案を提案していきたいと思っています。

江津清和  
養護学校

### 清和あれこれ

### 「海に見える図書館です」

今回は、江津清和養護学校の図書館についてご紹介します。障がいのある方にも利用しやすい「バリアフリー図書」を多く所蔵しているのが特徴です。

音の出る絵本、しかけのある絵本、大型絵本、エプロンシアター、パネルシアターなどがあります。映像付きで読み上げ機能のある電子書籍も500作品以上あります。

3階の図書館までエレベーターで上がることができ、窓からは遠くに日本海が見えます。また、年に1回、異文化理解を目的として、外国の文化の紹介や民族衣装の展示をしています。

本来は地域の皆様にもご利用いただける図書館として開放していますが、このコロナ禍の中であり、バリアフリー図書等の利用をご希望の場合には、事前に学校までご連絡いただきますようお願いいたします。



韓国の文化体験より